

令和3年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			運動療育を展開しているのである程度のスペースは確保できています。目が届く領域としても最適です。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準定員を満たしております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内バリアフリーとなっております。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員が参画しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年度末に保護者アンケートを実施しています。次年度に向けての業務改善につなげていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページに公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後外部評価を受けることを検討しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修、事業所内研修を定期的に開催しています。また、専門的な分野に於いての外部研修にも参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時アセスメント、年1回アセスメント、毎日のモニタリング記録をもとに支援会議にて課題の整理表を作成、支援計画を立案しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを用いて行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムについてチームにて利用児様の状況を確認し検討、立案を行い、その時に必要なプログラムの展開を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者様にあったプログラムが成されているか常に話し合いをし、利用者様の興味、成長に合わせた活動を提供しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者様の体調なども加味し、静・動のバランスを大切に設定します。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の場面や集団の場面かは異なりますが、ひとりひとりに必要な支援の中で重点的に取り組みたい内容については個別支援計画、特別支援計画を作成して実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日のMTをサービス提供前に行い、事務連絡、支援上の留意点、引継ぎ事項の確認等を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎業務や保護者対応などもあり支援終了後に全員での振り返りが難しいが、改善策として毎日のミーティングの際に前日の振り返りを行い情報の共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日のケース記録の記入をしっかりと行い情報の共有と支援内容の検討を行っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング期間に合わせ、個別支援計画の見直しを行っています。
関係 機関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			A; 運動活動、I; 創作、U; 買い物外出活動、E; レクリエーション、パソコン、SSTなどを設定し行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や子どもの状況を十分理解した職員が出席しております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時、学校より行事予定などの情報交換を行っています。また、利用児様の体調などの引継ぎなどを行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			利用者様の様子など保護者様の依頼があった際には連絡しております。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所から引き継ぎ内容をいただいたり、保育園などから情報の引継ぎをしています。法人内につだまちスマイルキッズ（児童発達支援事業所）を併設しており利用者様が安心してステップアップできるよう取り組んでおります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業により他事業所への移行の際は、必要に応じて相談支援事業所や保護者様と支援内容をお話する機会や支援計画書のお渡しなどを行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターに相談し、助言を受けています。

関 や 保 護 者 と の 連 携	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		現在、感染症蔓延により自粛しておりますが法人内にある学童保育との交流活動、イベントへの参加などの機会を設けています。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	機会があれば是非参加したいと思っています。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時、保護者様と密に情報交換し、家での普段の様子などをお聞きしたり、事業所からは利用時の様子をお伝えしています。また、事業所内面談も行っております。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニング等の支援についての保護者向け講習等は行っていません。(今後検討していきます。)
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書を用いて行っています。また、保護者様から質問をいただいた時にはその都度説明をいたしております。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		活動後保護者様対応の際に行っています。また年に1回の個別面談や事業所内面談を行い保護者様とお話する機会を設けています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナウイルス感染が収束しましたら、希望を伺い保護者様が別室にて利用児様の様子をモニターでご覧いただく機会を設け保護者連携の場を設ける予定です。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情に対しては迅速かつ適切に対応しており、また法人全体にて第三者委員会を開催し年1回評価をいただいています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月中旬頃に次月の予定カレンダーを配布しています。またイベント、行事等のお知らせを随時配布しています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○		個人名が記載されている書類については鍵付きの書庫に保管しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者様へは視覚的にわかりやすいよう絵カードやホワイトボードを用いています。保護者様へは直積確認すべき内容については速やかに電話連絡を行っています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域に向けたイベントの開催(餅つき大会等)を実施し地域住民の方にも参加いただいております。
	非 常 時 等 の 対 応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	
③9		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震、火事、津波、風水害、送迎時の災害を想定して年に4回防災避難訓練を実施しています。また防災意識を高めるため、消防署の方においでいただいたり啓発DVD鑑賞や非常時持ち出し袋の確認などを定期的に行っています。
④0		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内研修として虐待防止の研修を開催し受講しています。また、徳島県主催の研修も受講しています。
④1		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、		○	通常、身体拘束は行っておりませんが利用者様または他の利用者様の生命または身体を保護するため緊急をやむを得ない場合に行う場合があります。やむを得ない場合の身体拘束については保護者様に十分に説明を行います。
④2		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの同意書を作成しており、また対応が必要になった時には医師と連携していきます。
④3		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの事例については毎月会議を開催し事例内容及び支援方法を確認、検討を行い会議録にて回覧しています。